

環境経営レポート

日本システム開発株式会社
54期（2023年7月1日～2024年6月30日）



2024年7月31日
NSKエコプロジェクト

目次

■計画の策定（Plan）

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
 - 3-1 環境理念
 - 3-2 環境方針
 - 3-3 生物多様性保全宣言
4. 環境経営目標
 - 4-1 中期（3年）環境目標
 - 4-2 54期 環境目標
5. 環境経営計画
 - 5-1 54期 環境経営計画
 - 5-2 全社向け啓蒙 ポスター（54期環境活動）

■計画の実施（Do）

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
 - 6-1 実施体制
 - 6-2 54期の活動記録
 - 6-3 3年間の取組の推移（電力と廃棄物）

■取組状況の確認及び評価（Check）

7. 54期取組結果とその評価、次年度取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反・起訴等の有無

■全体の評価と見直し（Act）

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

会社名	日本システム開発株式会社
設立	1971年（昭和46年）5月
資本金	1億円
代表者	代表取締役 亀井 政之
社員数	124名（2024年6月末現在）
事業内容	ソフトウェアの開発販売、旅行業ソリューション、 創薬研究支援サービス（創薬研究支援センター閉所により、 2024/3/31でサービス終了）
事業所	●本社 東京都新宿区歌舞伎町2-4-10 KDX東新宿ビル 電話：03-6302-1371 FAX：03-6302-1391 ●（2024/3/31閉所） 東京都大田区平和島6-1-1 TRCセンタービル8F ●新大阪開発センター（2023/8/2開設） 大阪府大阪市淀川区西中島6-11-25 第10新大阪ビル6階
ホームページ	https://www.nsk.co.jp
事業所データ	●本社 KDX東新宿ビル6階 床面積：737.82㎡ ●創薬研究支援センター TRCセンタービル8F 床面積：186.82㎡ ●新大阪開発センター 第10新大阪ビル6階 床面積：72.13㎡

2. 対象範囲

認証	登録番号：0000875
登録範囲	全社、全組織
レポート対象期間	令和5年7月1日～令和6年6月30日（当社54期）
レポート発行日	令和6年7月31日

3. 環境経営方針

3-1. 環境理念

2010年7月1日
日本システム開発株式会社
代表取締役 亀井 政之

当社は「地球資源が有限であることを認識し、環境保全に永続的に配慮していく」ことを重要経営課題のひとつとし、事業活動と地球環境の調和を目指して全社員が環境問題に積極的に取り組み、この取り組みを継続的に改善していくことで社会の安全と発展に貢献し社会的責任を果たします。

3-2. 環境方針

2011年7月策定, 2019年7月見直し
日本システム開発株式会社
代表取締役 亀井 政之

1. 全社員は、資源およびエネルギーの有限性を深く認識し、節約およびリサイクルに積極的
に取り組み、環境負荷低減と環境汚染の予防に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・環境目標を具体的に設定し、運用、
評価、見直しを実施して、継続的な改善に努めます。
3. 環境教育・周知活動を推進し、社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に
公開します。
4. 事業活動にあたって、法規制、条例およびその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動が生物多様性に与える影響を充分把握し、生物多様性の損失を防ぐ
「自然共生社会」の実現に向けて取り組みます。
6. 業務遂行における資源削減、エコ素材推奨を推進します。

3-3. 生物多様性保全宣言

2011年3月策定
日本システム開発株式会社
代表取締役 亀井 政之

当社の事業活動が生物多様性に与える影響を充分把握し、生物多様性の損失を防ぐ
「自然共生社会」の実現に向け、取り組んでまいります。

1. 生物多様性保全を、企業の重要課題のひとつとして捉え、事業計画、企画、開発、設計、
製造、試験など、全ての事業活動において、生物多様性への影響を配慮します。
2. 電力等エネルギーの使用、水資源の利用、原材料の調達、化学物質や廃棄物排出など
において生物多様性への影響に配慮し、低減に努めます。
3. 顧客、取引先、地域社会、社員などのステークホルダーと連携した生物多様性保全活動を
推進します。
4. 生物多様性保全の周知活動を推進し、社員の生物多様性保全への意識向上を図るとともに
生物多様性保全宣言を社外に公開します。

4. 環境経営目標

4-1. 中期（3年）環境経営目標

中期（3年）活動計画 54期～56期 は以下の通り

※54期（2023年7月～2024年6月）、 55期（2024年7月～2025年6月）、 56期（2025年7月～2026年6月）

2023年7月31日

承認：代表取締役 亀井政之

作成：環境管理責任者 三浦 未知央

●54期～56期の中期目標

環境経営方針	環境目的	環境経営目標
1.環境負荷の低減と 環境汚染の予防	電力使用 量の低減	53期 100,282kWh(本社実績)、 40,321kWh(TRC実績) 54期 105,000kWh(本社) 人員増加による使用量増を見込む 40,000kWh(TRC) 大きな変更要因無し 6,080kWh(新大阪) 7月は不在 55期 108,000kWh(本社) 人員増加による使用量増 40,000kWh(TRC)※ ※2024/3/31創業研究支援センター閉所のため 6,500kWh(新大阪) 56期 110,000kWh(本社) 人員増加による使用量増 40,000kWh(TRC)※ 7,000kWh(新大阪) 人員増加 --本社は各年8名増による使用電力増を見込む一方、作業時間の削減努力や 節電対策による節電効果も織り込んだ目標とする。 --TRCは53期から大きな変更要因がないので目標は53期同程度とする。
	廃棄物の削減	一般 産廃 循環資源ゴミ 53期 1,860kg 5,530kg 1,278kg 実績 54期 1,900kg 5,500kg 1,300kg 53期と同程度 55期 1,900kg 5,500kg 1,300kg 53期と同程度 56期 1,900kg 5,500kg 1,300kg 53期と同程度 ---一般、循環は各年8名増による廃棄量増を見込む一方で、 削減対策による削減効果も織り込み、53期と同程度とする。 産廃(プラゴミ)が増え続けていることに歯止めをかける施策を考える。
	作業時間 の短縮	53期 平均153.0hour/month 実績 54期 平均155hour/month 以下 55期 平均155hour/month 以下 56期 平均155hour/month 以下 --近年の作業時間の増減の範囲で、低すぎない目標として155hとする。
	本社のみ	
2.教育・訓練	教育・訓練	56期までの活動として以下を実践する ・環境活動への取組みを『見える化』するシステムを社員に使ってもらう。毎月8割以上。 ・社員へエコ関連の教育を実施する。 ・当社のEA21活動目標と具体的活動内容を共有する。 ・定期的にエコ委員会開催、エコ活動を円滑にするとともに活動状況を共有する。 ・後始末の徹底、プラゴミ削減運動を推進
3.法令遵守	法令遵守	関連法規をチェックし遵守する。
4.生物多様性への 配慮	生物多様性 保全	社員の生物多様性保全に対する意識を向上させる。
5.業務における資源 削減、エコ素材推奨	業務遂行におけ る資源削減、エ コ素材推奨を推 進する	本業においての環境保全への配慮と貢献を意識し、推進する。 ITシステム・ITソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負荷削減に貢献する。 エコチャレンジシステムのアプリ化を進め、社内利用および社外への無償提供を開始する。

●今後の具体的な施策案

- 1) 電力使用量低減に向け、作業時間の削減努力、エアコンの適正な利用管理、不要箇所の消灯の徹底等を実施する。
また低電力の新商品へ電子機器を買い替える対応も行っていく。
- 2) 廃棄物については、ペーパーレス化と適切なゴミの分別を徹底していく。
- 3) エコチャレンジシステムの毎月の利用を啓蒙し続ける。
エコチャレンジシステムをアプリ化し無償提供する。
- 4) ポスター、NSKカードで活動目標と具体的活動内容を共有する
- 5) エコ委員会活動を継続し、定期的に社員へ活動報告し、エコ推進を啓蒙する。
- 6) 創立記念式典で、社員へ生物多様性やエコに関連したセミナーを開催する。
- 7) 創立記念式典で、社員へエコ活動結果を報告・共有する。
- 8) お客様の業務効率改善、環境負荷削減を意識したシステムやアイデアを提供、提案する。

4-2. 5 4 期環境経営目標

環境方針	環境目的	環境経営目標
1.環境負荷の低減と 環境汚染の予防	電力使用量の低減	54期目標 105,000kWh(本社) 40,000kWh(T R C) 6,080kWh(新大阪)
	一般廃棄物の分別	54期目標 (本社のみ) 一般廃棄物 1,900kg 循環資源ごみ 1,300kg
	産業廃棄物の 適正廃棄	54期目標 (本社のみ) 産業廃棄物 5,500kg
	作業時間の短縮	1 人平均155hour/month 以下
2.教育・訓練	教育・訓練	環境活動への取組みを『見える化』するシステムを社員に使ってもら う。毎月8割以上。 社員へエコ関連の教育を実施する。 当社のEA 2 1 活動目標と具体的活動内容を共有する。 定期的にエコ委員会開催、エコ活動を円滑にするとともに活動状況を共 有する。 後始末の徹底、プラごみ削減運動を推進する
3.法令遵守	法令遵守	関連法規をチェックし遵守する。
4.生物多様性への配慮	生物多様性保全	社員の生物多様性保全に対する意識を向上させる。
5.業務における資源 削減、エコ素材推奨	業務遂行における資源 削減、エコ素材推奨を 推進する	本業における環境保全への配慮と貢献を意識し、推進する。 ITシステム・ITソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負 荷削減に貢献する。エコチャレンジシステムのアプリ化を進め、社内利 用および社外への無償提供を開始する。



当社作成
環境経営ソリューション「えこわ」

エコチャレンジシステムをWebサービス化したシステム
「えこわ」を2024年5月から社内で利用し始め、外部には2024/7/18から無償提供開始しました。

5. 環境経営計画

5-1. 54期 環境経営計画

環境方針	環境目的	環境経営目標	手段	環境経営計画 担当者（責任者）	2023年 実施計画（月） 2024年											
					7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
1.環境負荷の低減と 環境汚染の予防	電力使用量の低減	54期目標 105,000kWh(本社) 40,000kWh(TRC) 6,080kWh(新大阪)	以下の実施状況を毎月チェック ・昼休み消灯 ・非使用場所の消灯 ・エアコン設定温度 ・扇風機の活用 ・離席時のディスプレイ消灯 ・主電源をこまめにOFF	エコ委員、事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般廃棄物の分別	54期目標（本社のみ） 一般廃棄物 1,900kg 循環資源ごみ 1,300kg	以下の実施状況を毎月チェック ・使い捨て製品の使用や購入抑制 ・ごみの分別の徹底 ・両面・集約印刷とコピー ・整理整頓	エコ委員、事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業廃棄物の 適正廃棄	54期目標（本社のみ） 産業廃棄物 5,500kg	廃棄物の廃棄量の把握 廃棄マニフェストの適正管理	エコ委員、事務局、（環境管理責任者） 事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	作業時間の短縮	1人平均155hour/month 以下	作業時間の把握	エコ委員、事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.教育・訓練	教育・訓練	環境活動への取組みを「見える化」するシステムを社員に使用してもらう。毎月8割以上。 社員へエコ関連の教育を実施する。 当社のEA2.1活動目標と具体的活動内容を共有する。 定期的にエコ委員会開催、エコ活動を円滑にするとともに活動状況を共有する。 後始末の徹底、プラごみ削減運動を推進する	エコチャレンジの利用啓蒙 NSKカード着用確認	エコ委員、事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			創立記念式典での教育	事務局、（環境管理責任者）												○
			委員会議事録作成と周知・毎月のエコ目標の決定と周知	エコ委員、事務局、（環境管理責任者）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			社員へNSKカード配布、エコポスター掲示	事務局、（環境管理責任者）		○										
3.法令遵守	法令遵守	関連法規をチェックし遵守する。	関連法規の改正チェック 定期的な遵守チェック	環境管理責任者、（環境管理責任者）	○					○						
4.生物多様性への配慮	生物多様性保全	社員の生物多様性保全に対する意識を向上させる。	創立記念式典で生物多様性の現状とその保全状況を社員へ周知	事務局、（環境管理責任者）												○
5.業務における資源削減、エコ素材推奨	業務遂行における資源削減、エコ素材推奨を推進する	本業における環境保全への配慮と貢献を意識し、推進する。 ITシステム・ITソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負荷削減に貢献する。エコチャレンジシステムのアプリ化を進め、社内利用および社外への無償提供を開始する。	以下の実施状況をチェック ・本業においてエコを意識しているか ・ITシステム・ITソリューション提供による、顧客と社会の環境負荷削減貢献	環境管理責任者、（環境管理責任者）	○					○						

今期目標を周知し、啓蒙する

54期エコプロジェクト目標

消費電力の削減

昼休み、不要場所の消灯
エアコンの節電（扇風機の活用）
不要時のPCの電源オフ



廃棄物の削減・リサイクル

ごみの分別
両面・集約印刷の推進
エコバッグの利用



労働時間の短縮

作業の効率化
作業分担の工夫



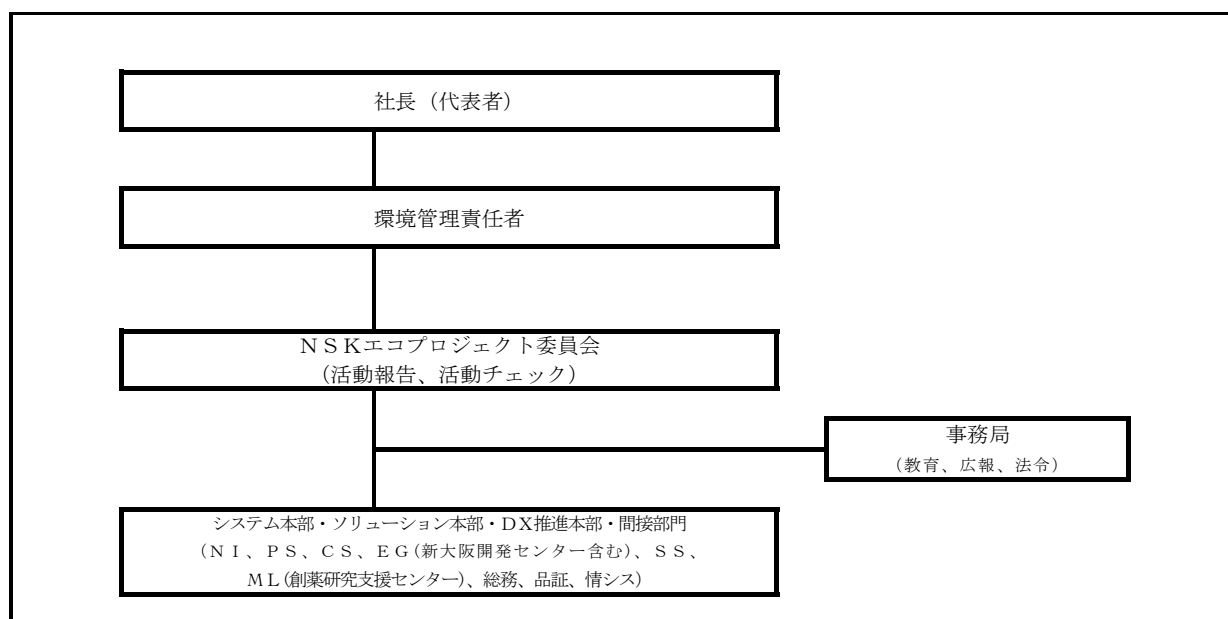
日本システム開発 エコプロジェクト



エコアクション21®
認証番号 0000875

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

6-1. 実施体制



役割	責任及び権限
代表者	・環境経営方針の策定・見直し
	・経営の課題とチャンスを明確化する
	・環境経営レポートの承認
	・環境経営目標・環境経営計画の承認
環境管理責任者	・環境経営レポートの作成および確認
	・環境経営目標・環境経営計画の作成
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境管理責任者の補佐、委員会の事務局
事務局	・環境活動の実績集計
	・環境経営レポートの作成
	・自部門の環境活動実績の報告
委員	・委員会の決定事項を自部門へ周知

6-2. 54期の活動記録

エコプロジェクト・作業記録（54期：2023/07～2024/06）

年月日	内容	E A 2 1 対応目的	対象
2023年7月	54期エコ委員の選定	計画策定	事務局
	エコプロジェクト会議 議事録公開（7/20）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
	夏季大掃除（7/28）	廃棄物	全社
	B C P 関連資料、規程類の更新・公開（7/30）	教育・啓蒙	全社
2023年8月	エコプロジェクト会議 議事録公開（8/17）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2023年9月	環境活動レポート50期作成、公開（9/1）	教育・啓蒙	事務局
	EA21更新審査 書類作成（9/14）	教育・啓蒙	事務局
	エコプロジェクト会議 議事録公開（9/21）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2023年10月	E A 2 1 現地審査(10/13,10/18)	広報	全社
	エコプロジェクト会議 議事録公開（10/19）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2023年11月	エコプロジェクト会議 議事録公開（11/21）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2023年12月	エコプロジェクト会議 議事録公開（12/14）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
	年末大掃除（12/22）	廃棄物	全社
2024年1月	危機管理 緊急時連絡「災害伝言板」訓練実施（1/15～1/19）	教育・啓蒙	全社
	エコプロジェクト会議 議事録公開（1/18）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2024年2月	エコプロジェクト会議 議事録公開（2/15）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2024年3月	エコプロジェクト会議 議事録公開（3/21）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2024年4月	エコプロジェクト会議 議事録公開（4/18）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2024年5月	クールビズ実施（5/13～9月末予定）	地球環境への配慮	全社
	環境法規一覧チェック（5/14）	法令順守	エコプロジェクト委員・事務局
	エコプロジェクト会議 議事録公開（5/17）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局
2024年6月	来期計画発表会（6/21） 電気・廃棄物の報告	啓蒙・教育	全社
	生物多様性に関するDVD視聴	〃	（KDX東新宿ビル3階 快・決いい会議室HALL A）
	エコプロジェクト会議 議事録公開（6/21）	教育・啓蒙	エコプロジェクト委員・事務局

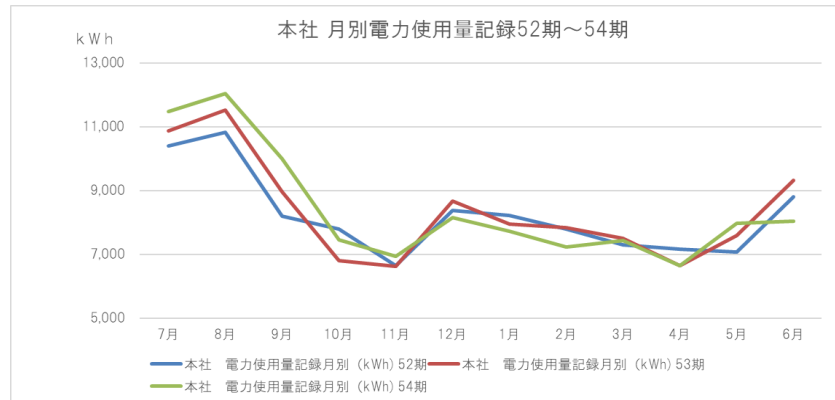
6-3. 3年間の取組の推移（電力と廃棄物）

●本社

【電力】

本社 電力使用量記録月別 (kWh)

	52期	53期	54期
7月	10,404	10,860	11,468
8月	10,819	11,525	12,045
9月	8,204	8,961	9,990
10月	7,793	6,801	7,449
11月	6,649	6,629	6,942
12月	8,381	8,660	8,152
1月	8,216	7,952	7,711
2月	7,785	7,842	7,220
3月	7,285	7,501	7,428
4月	7,165	6,636	6,637
5月	7,072	7,591	7,976
6月	8,792	9,324	8,028
合計kWh	98,565	100,282	101,046



* コロナ禍以降電力消費は高止まりしている。感染対策として換気しつつ空調を利用する状態が常態化しているため。

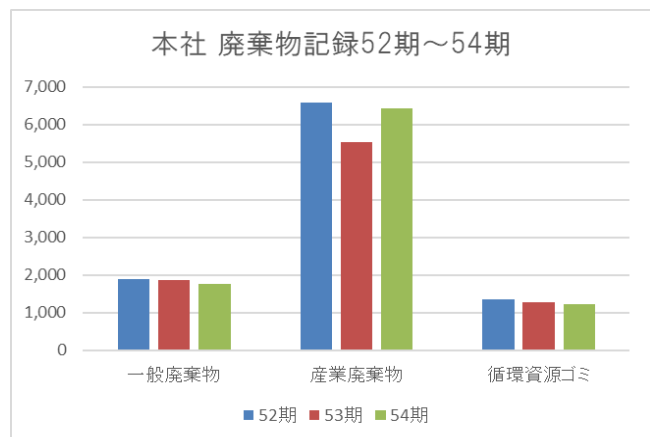
【電力のCO2換算】

	電力 kWh	調整後排出係数 (丸紅)	CO2換算 (kg-CO2)
52期	98,565	0.496	51,425.5
53期	100,282	0.546	48,888.2
54期	101,046	0.564	56,989.9

【廃棄物】

廃棄物記録月別 (kg)

	一般廃棄物	産業廃棄物	循環資源ゴミ
52期	1,885	6,600	1,360
53期	1,860	5,530	1,278
54期	1,760	6,445	1,215

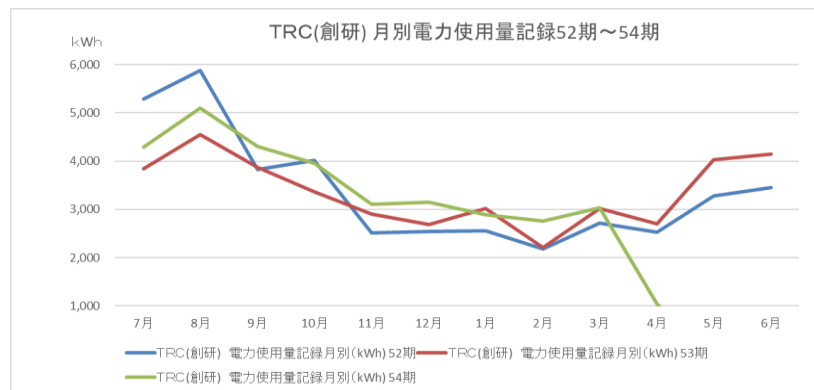


* 54期は、席増設による整理により産業廃棄物の量が前期より増えた。

●創薬研究支援センター

TRC(創研) 電力使用量記録月別 (kWh)

	52期	53期	54期
7月	5,290	3,837	4,282
8月	5,880	4,545	5,100
9月	3,832	3,870	4,299
10月	4,010	3,360	3,959
11月	2,512	2,901	3,108
12月	2,535	2,682	3,152
1月	2,556	3,017	2,892
2月	2,181	2,211	2,763
3月	2,718	3,023	3,031
4月	2,531	2,704	1,048
5月	3,277	4,026	-
6月	3,451	4,145	-
合計kWh	19,249	40,321	33,634



* 54期3月末で創薬研究支援センター が閉所、創薬研究支援サービスが終了となった。

【電力のCO2換算】

	電力 kWh	調整後排出係数 (東京電力)	CO2換算 (kg-CO2)
52期	40,773	0.441	17,980.9
53期	40,321	0.451	18,184.8
54期	33,634	0.376	12,646.4

●新大阪開発センター

新大阪開発センター 電力使用量記録月別 (kWh)

	52期	53期	54期
7月	-	-	77
8月	-	-	305
9月	-	-	359
10月	-	-	127
11月	-	-	402
12月	-	-	671
1月	-	-	896
2月	-	-	823
3月	-	-	910
4月	-	-	276
5月	-	-	129
6月	-	55	152
合計kWh	0	55	5,127

* 54期8月から営業開始、営業開始前の53期6月,54期7月は工事分の電気料。

	電力 kWh	調整後排出係数 (関西電力)	CO2換算 (kg-CO2)
54期	5,127	0.420	2,153.3

7. 54期取組結果とその評価、次年度取組内容

環境方針	環境目的	環境経営目標	実施項目	環境目標に対する実績と評価	次年度の取組み内容
環境負荷の低減と環境汚染の予防	電力使用量の低減	本社 105,000kWh以内 TRC(創研) 40,000kWh 新大阪開発センター- 6,080kWh	昼休みの消灯 非使用場所の消灯 エアコンの設定温度の確認 扇風機の活用 離席時のディスプレイ消灯 主電源をこまめにOFF	本社 101,046kWh 目標達成 TRC(創研) 33,634kWh 目標達成 新大阪開発センター- 5,127kWh 目標達成	本社 105,000kWh以内 新大阪開発センター- 6000kWh以内
	一般廃棄物の分別	一般廃棄物 1,900kg以内 循環資源ごみ 1,300kg以内	使い捨て製品の使用や購入抑制 ごみの分別の徹底 両面・集約印刷とコピー 整理整頓	一般 1,760kg 目標達成 循環 1,215kg 目標達成	一般廃棄物 1,900kg以内 循環資源ごみ 1,300kg以内
	産業廃棄物の適正廃棄	産業廃棄物 5,500kg以内	廃棄物の廃棄量の把握 廃棄マニフェストの適正管理	産廃 6,445kg 目標未達	産業廃棄物 5,500kg以内
	作業時間の短縮	1人平均155hour/month以下	作業時間の把握 作業の効率化、作業分担の工夫	前期=平均153.0hour/month 今期=平均152.8hour/month 目標達成	1人平均155hour/month以下
教育・訓練	教育・訓練	環境活動への取組みを『見える化』するシステムを社員に使用してもらう。毎月8割以上。 社員へエコ関連の教育を実施する。 当社のEA21活動目標と具体的な活動内容を共有する。 定期的にエコ委員会開催、エコ活動を円滑にするともに活動状況を共有する。 後始末の徹底、プラごみ削減運動を推進する	エコチャレンジの利用啓蒙 NSKカード着用確認 創立記念式典での教育 委員会議事録作成と周知・毎月のエコ目標の決定と周知 社員へNSKカード配布、エコポスター掲示	エコチャレンジの利用状況は99%以上 携帯・着用チェック 実施済みを確認した 創立記念式典でエコアクションについて発表を行い周知した 問題なし 毎月、委員会の会議内容を議事録にまとめ周知している 社内エコポスター掲示を確認した 社内WEB 掲示済みを確認した 問題なし	環境活動への取組みを『見える化』するエコチャレンジシステム(えこわ)を社員に使用してもらう。毎月9.5割以上。 社員へエコ関連の教育を実施する。 当社のEA21活動目標と具体的な活動内容を共有する。 定期的にエコ委員会開催、エコ活動を円滑にするとともに活動状況を共有する 後始末の徹底、プラごみ削減運動を推進する
法令遵守	法令遵守	関連法規をチェックし遵守する。	関連法規の改正チェック 定期的な遵守チェック	チェックされていることを確認した 問題なし	関連法規をチェックし遵守する。
生物多様性への配慮	生物多様性保全	社員の生物多様性保全に対する意識を向上させる。	創立記念式典で生物多様性の現状とその保全状況を社員へ周知	創立記念式典での周知を確認した。 問題なし	社員の生物多様性保全に対する意識を向上させる。
業務における資源削減、エコ素材推奨	業務遂行における資源削減、エコ素材推奨を推進する	本業においての環境保全への配慮と貢献を意識し、推進する。 ITシステム・ITソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負荷削減に貢献する。 エコチャレンジシステムのアプリ化を進め、社内利用および社外への無償提供を開始する。	以下の実施状況をチェック ・本業においてエコを意識しているか ・ITシステム・ITソリューション提供による、顧客と社会の環境負荷削減貢献	自社製品の販売 Tablet 8本 MDSS : 11本 ancs/SCS/SATS1件 問題なし 各部ヒアリングの結果、エコを意識していることが確認できた 問題なし	本業においての環境保全への配慮と貢献を意識し、推進する。 ITシステム・ITソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負荷削減に貢献する。 エコチャレンジシステム(えこわ)の社内利用および社外への無償提供を継続する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、起訴等の有無

廃棄物処理法やフロン排出抑制法等の環境関連法規の遵守については、社内監査を適正に行っており、違反、訴訟等はありません。

関連法規	最終点検日	結果
廃棄物処理法	2024/7/31	遵守している
東京都環境基本条例	2024/7/31	遵守している
フロン排出抑制法	2024/7/31	遵守している

「資料：環境関連法規のとりまとめと遵守結果」より抜粋
関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

2024年7月31日
代表取締役 亀井政之
環境管理責任者 三浦 未知央

○環境経営方針について、見直しと指示

2006年のEA21認証取得以来、全社員が積極的に環境問題に取り組んでいる。
2024年5月には、毎月の環境活動への取り組みを見える化するシステム「えこわ」を自社開発し、毎月の利用率はほぼ100%を達成している。エコの輪を広げたいという思いから、6月より他社にも「えこわ」を無償で提供開始。是非多くの方に利用いただけるよう、宣伝活動を一層強化する。

○環境経営目標及び環境経営計画について、見直しと指示

- 1) 電力使用量については、目標を達成できた。
クールビズ、ウォームビズを中心にエネルギー削減努力を続けるとともに、不要なPC、サーバー、デバイスがないか各部に確認し、不要なものは処分する。
- 2) ゴミの廃棄量については、産廃が目標を達成しなかった。
事務所のレイアウト変更により発生したゴミや、酷暑により夏のペットボトルの廃棄が増えたことが要因。今後も身近のゴミの削減に向けた意識向上を呼びかけていく。
- 3) 作業時間については、少なかった前年とほぼ同じ作業時間となった。
売上げが大きく落ち込むこともなく、効率の良い作業を維持できている。
- 4) エコ、生物多様性の教育・啓蒙について
エコ、生物多様性については、例年通り、創立記念式典で全社員に向け教育・啓蒙した。
今後も継続して啓蒙していく。
- 5) 法令遵守
環境関連法規の遵守状況は毎年確認しており、問題なし。
- 6) 業務における資源削減、エコ素材推奨
ＩＴシステム・ＩＴソリューションの提供を通じ、お客様、社会の環境負荷削減に貢献している。
55期もＩＴシステム・ＩＴソリューション提供に力をを入れていく。

○実施体制について、見直しと指示

2023年8月より、大阪市淀川区に新大阪開発センターを事務所として新設。
2024年3月に大田区の創業研究支援センターを閉鎖。
新大阪のエコ活動については、営業部のエコ委員に情報を収集してもらい、エコ委員会で共有する。